

# 農のうくうかん 空間

第71号

発行所 福島県農林水産部 農村計画課

今回の特集は、ため池等の防災・減災対策として取り組んでいます。  
【耐震性調査 ハザードマップ作成】



県内には、農業用ダム27箇所のほか、3,700箇所を越える多くのため池が存在し、このうち防災重点ため池（下流に人家が存在したり、規模が大きい等を考慮したもの）が218箇所あります。現在、耐震性調査やハザードマップ作成については、震災対策農業水利施設整備事業（平成30年度まで国費100%で実施、2ha以上の受益面積を有する



ハザードマップの一例

本県では、東日本大震災により藤沼ダムが決壊し甚大な被害が発生したほか、多くのダム・ため池に被害が生じました。また、今年7月の九州北部豪雨でも、ため池が決壊するなど、多くの被害が発生しています。

県としては、平成30年度までに防災重点ため池の耐震性調査、やハザードマップ作成を完了させることを目標に、関係機関と取組を進めています。また、防災重点ため池以外についても、平成30年度までに少しでも多くの箇所で実施できるように進めていきたいと考えています。

最後に、補助事業要件を満たさない、受益面積が2ha未満のため池については、地域住民の防災・減災の意識を高めるためハザードマップ作成のみの事業である「ふくしま水土里の防災力アップ運動事業」（年3カ所程度）を県が実施しておりますので、各農林事務所農村整備部にお問い合わせください。

【農村整備部】



【整備後】大豆ほ場の中耕・培土作業



【整備後】約72haを法人へ集積



【整備前】「原地区」受益面積94ha



ため池復旧方法を説明する岡田さん

農地復旧方法を説明する吉村さん



ため池改修を検討する富井さん

「みきやん」ポロシャツ愛用の秋山さん

「農地計画課」では、支援隊2年目となる滋賀県の吉村さん（1年間）と、愛媛県（3ヶ月交代）から亀田さん（4ヶ月）が、相双地区の復旧復興のため昼夜を問わず市町村の支援をしていただい

ます。東日本大震災の災害査定も第50次となり、8月28～31日にかけて行われました。飯館村のため池や浪江町の農地など23箇所（累計1,191箇所）が決定となりました。復興支援隊の皆様が、災害査定の現地確認や資料作成、査定官・立会官への説明、朱入れに至るまで支援していただきましたおかげで、予定通り終えることが出来ました。

「農地計画課」では、支援隊2年目となる滋賀県の吉村さん（1年間）と、愛媛県（3ヶ月交代）から亀田さん（4ヶ月）が、相双地区の復旧復興のため昼夜を問わず市町村の支援をしていただい

ます。相双農林事務所で市町村の災害復旧業務の指導に当たつている、「福耕支援隊」について紹介します。



「農地計画課」では、支援隊2年目となる滋賀県の吉村さん（1年間）と、愛媛県（3ヶ月交代）から亀田さん（4ヶ月）が、相双地区の復旧復興のため昼夜を問わず市町村の支援をしていただい

ます。相双農林事務所で市町村の災害復旧業務の指導に当たつている、「福耕支援隊」について紹介します。

## 会津農林事務所

ほ場整備を契機とした  
集落営農と地域興し

## 福耕支援隊情報



て いる 地区 は 9 地区 あり 、そ れ ら の 地区 の 維持 管理 及び 集積 事 業 を 行つて い ます。 現在 は 、平 成 26 年度 採 択 の 農村 地域 復興 再 生 基盤 総合 整備 事業 前田 川 地区 71 ha の 換地 委託 業務 、 農地 集積 事 業 及び 負担 団体 と し て 事 業 を 実施 して い ます。 また 、 平成 29 年度 に は 、 農村 地域 復興 再生 基盤 総合 整備 事業 森宿 地区 71 ha が 採 択 さ れ 着手 し て い ます。

そ の 他 の 事 業 と し て 、 平成 28 年度 採 択 の 特定 農業 用管 水路 等 特別 対策 事 業 浜田 地区 の パイプ ライン の 全面 改修 事 業 も 実施 し て い ます。 同じく 農業 基盤 整備 促進 事 業 の 実施 や ため池 等 整備

須賀川市土地改良区は、昭和62年4月に、浜田地区土地改良区と稻田地区土地改良区が新設合併して設立されました。受益地は須賀川市（須賀川市と旧長沼町と旧岩瀬村が合併）のほか、鏡石町と天栄村の一部にまたがり、受益面積1,313ha、組合員数1,318名を管轄し、県営ほ場整備事業実施地区及び完了地区を受益地としています。既に、ほ場整備事業を完了し



須賀川市土地改良区

県中

「2名の職員で現場を歩き  
地元に寄り添う改良区」

事業、土地改良施設維持管理適正化事業も隨時実施しています。当土地改良区の主な業務は、事業の実施と維持管理事業がメインですが、これら事業を実施するに当たり、実施前に何度も集落へ出向き説明会を開催するなどの啓発活動や、採択後の県や市など関係機関との調整役として、受益者1人1人と向き合い、疑問や不安に思っていることを感じ取り、気軽に対話し、不安に思っていることを1つ1つ取り除けるように心掛け、それが一番大事な仕事と考えておられます。特に換地等の配分作業(一時利用地指定を含む)については、要望や希望、不平不満と、受益者の皆様の大変な土地を扱うことなので、特に神経を使います。それらを経て、事業が完了し、「この事業をやつて良かった」と言つてもらえた時が最大の喜びで、その笑顔を拝見することが私たちの仕事の醍醐味であり、達成感を得る時です。

また、修繕等の維持管理事業でも、現場と一緒に立会い、どのようにすればよいかと一緒に知恵を出し合い、どんな補助事業が該当するかを常に考えます。平成23年の東日本大震災により、事務所を設けていた須賀川

◆ほ場整備実施地区一覧(須賀川市土地改良区管内)				
事業年度	地区名	所在地	面積(ha)	種別
S47～S56	浜田	須賀川市	210	一般
S51～S58	保土原	須賀川市	228	一般
S61～H5	泉田	須賀川市	149	一般
H2～H8	稲	須賀川市	65	低コスト
H2～H9	松塚	須賀川市	94	土地総
H3～H10	館ヶ岡	須賀川市	158	担い手
H10～H16	大桑原	須賀川市	48	担い手
H12～H23	仁井田	須賀川市	247	担い手
H19～H24	里ノ前	須賀川市	23	経営体
H26～	前田川	須賀川市	71	経営体(復興再生)
H29～	森宿	須賀川市	71	経営体(復興再生)



## 須賀川市土地改良区

市役所被災倒壊により、仮事務所に移つていましたが、市役所の新庁舎完成により、平成29年5月から事務所を移転し、業務を続けています。まだまだ、須賀川市のほ場整備率は低く、今後も新たな事業を展開できるよう、各地区への啓発を図るとともに、これから農業へ向かうための方法手段を考えながら、農家の皆さんのお役に立てるよう2名の職員で頑張つていきました。

## 新規採用職員の紹介

An illustration of a young man with short brown hair, wearing a dark blue suit jacket over a white shirt. He is smiling and holding a small, round globe or model of the Earth in his right hand. A light blue speech bubble is positioned above him, containing the Japanese text "農業土木職員の一員です！". The background is plain white.

④私は二本松市の杉田の出身で名前の通り自然が多く、田園風景に囲まれて育ちました。動くことが好きで、幼少期は実家の畑を走り荒らしていた記憶があります。そんなこともあり、学生時代は農業土木を専攻しました。

県外で過ごしたことで地元貢献をしたいと考えるようになり、最後の決め手は県庁見学会での職場の雰囲気の良さでした。担当は、ほ場整備で田の大区画化や道水路の整備をしています。左脳をフルに使い1日でも早く多くの力になれるよう頑張ります。

- ① 所属・氏名
- ② 出身地
- ③ 学生時代の専攻
- ④ 志望動機・担当業務・抱負

①県中農林事務所 農村整備課 横山 瑞貴

②新潟県新潟市 アグリビジネス学科

③ここにちは！ 県中農林事務所の横山です。私は福島県の復興再生の力になりたいと思い、本職を志望しました。

担当地区は中山間総合整備事業永谷地区ですが、現在採択申請中のため、先輩が担当しているほ場整備事業地区と一緒に実施させていただいているです。

採用からもう少しで半年になりますが、まだ分からないうちばかりで先輩方からいろいろと教えてもらいたいながら業務に取り組んでいます。覚えることはたくさんありますが、毎日コツコツと頑張っています。

「農空間」とは、…  
農村において繰り広げられる農業の営み、それを支える農地や水、人々の生活、そして、美しい自然に囲まれ長い間に培われた伝統・文化などが溶けあつた空間のことです。



9/4~9/8 消費者の部屋にて

編集後記

71号の発行となりました！この農空間は本かわら版の他、イベントなどパネル展として全国を飛び回つております。

今年度は、県の大坂事務所と連携し京都府にて2回を行い、岩手県・宮城県・福島県の3県合同で東京都農林水産省「消費者の部屋」で開催するなど、本県の農業農村整備事業を好評PR中です。

④地元である福島県で学生時代に学んだことを活かせる仕事がしたいと考え志望しました。県単経営体育成基盤整備事業土田北地区、地すべり対策事業東松Ⅱ期地区を担当しています。

地元の方から感謝されるような仕事ができる職員になりたいと思います。

①会津農林事務所  
②農村整備課  
③加茂和泰  
④いわき市  
⑤食料生命  
環境学科